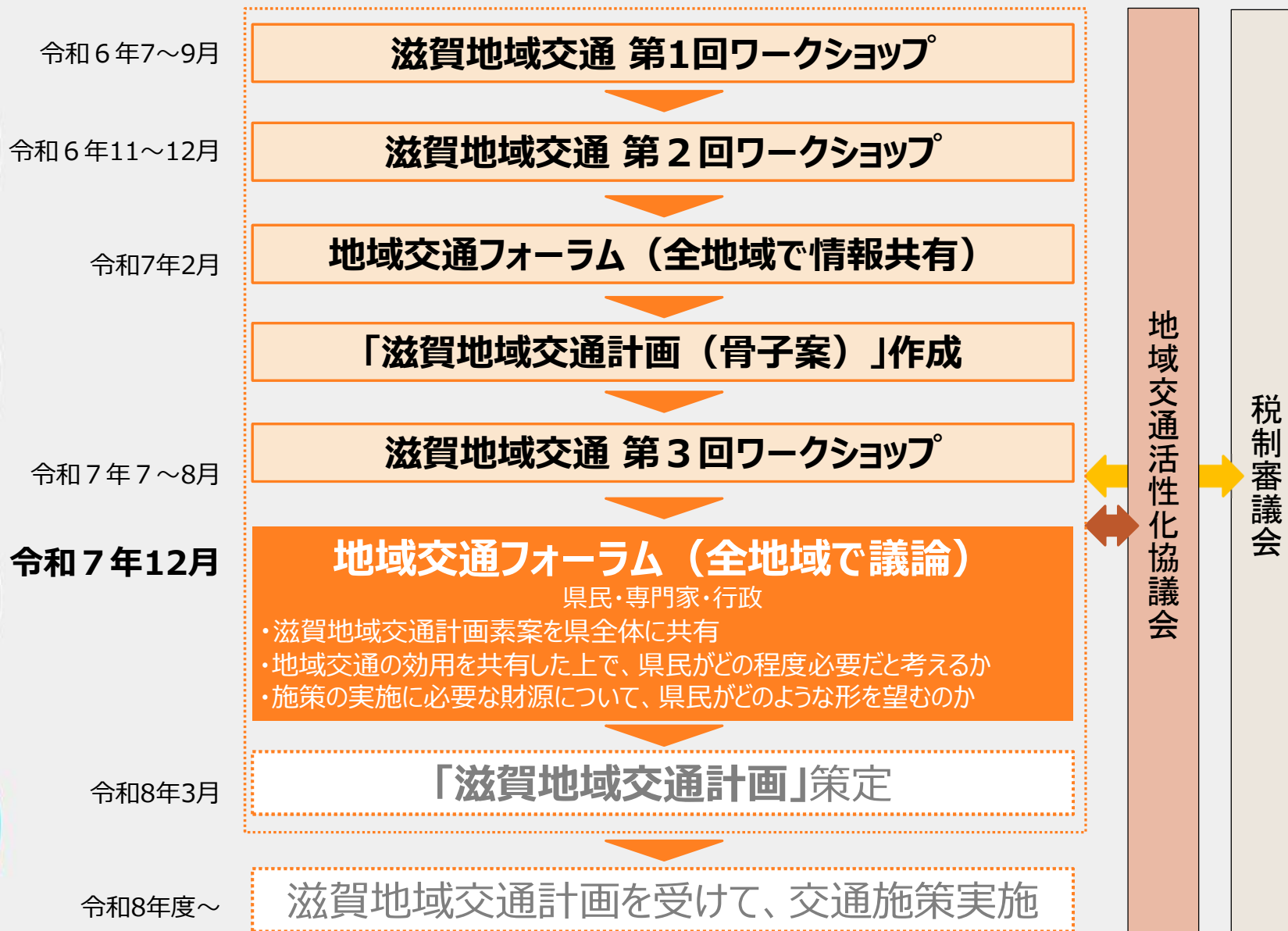


# 滋賀の地域交通フォーラム 未来アイデア会議報告

土木交通部交通戦略課



# 地域交通フォーラムの位置づけ



# 地域交通フォーラムの概要

## ● 滋賀の地域交通フォーラム 未来アイデア会議

滋賀県が将来に目指す暮らしの姿と、その暮らしをつくる地域交通の姿を県全体で共有し、その実現に必要な施策とその財源、負担・分担について議論した。

○ 日 時：令和7年12月13日（土）13時～15時

○ 参加者※<sup>1</sup>：約340人超（オンライン参加を含む）

※<sup>1</sup> 地域交通に関心の薄い方（サイレントマジョリティ）の参加を目的に、住民基本台帳から無作為抽出した2,660名に参加依頼を郵送し、35人の申込みがあった

○ 実施会場：【本会場】イオンシネマ草津 スクリーン1

【特設会場※<sup>2</sup>】イオンモール草津 3Fゲームランド前

※<sup>2</sup> 地域交通に関心の薄い方の参加を目的に、イオンモール草津への来客に街頭調査を実施

○ 実施形式：シンポジウム形式(会場現地+ZOOM配信)+街頭調査(特設会場)  
オンライン投稿フォーム(Slido)の活用  
グラフィックレコーディング

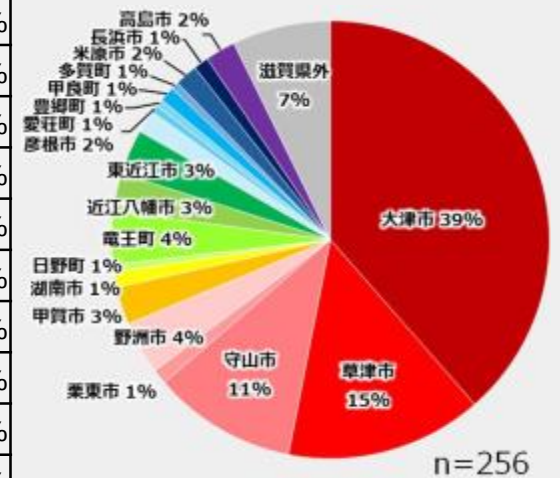


# 参加者のプロフィール

## ○ フォーラム参加者

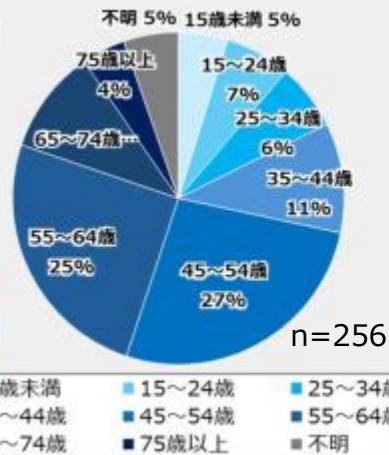
<b>参加者総数</b>	<b>340人超</b>
会場参加者 (うち無作為抽出による招待対象者)	256人 (35人)
オンライン参加者	38人
関係者	46人
<b>特設会場参加数 (アンケート回答者)</b>	<b>62人</b>

大津市	38.5%	東近江市	3.4%
草津市	14.5%	彦根市	1.7%
守山市	10.6%	愛荘町	0.6%
栗東市	1.1%	豊郷町	0.6%
野洲市	3.9%	甲良町	1.1%
甲賀市	2.8%	多賀町	0.6%
湖南市	1.1%	米原市	1.7%
日野町	0.6%	長浜市	1.1%
竜王町	3.9%	高島市	2.2%
近江八幡市	2.8%	滋賀県外	7.3%

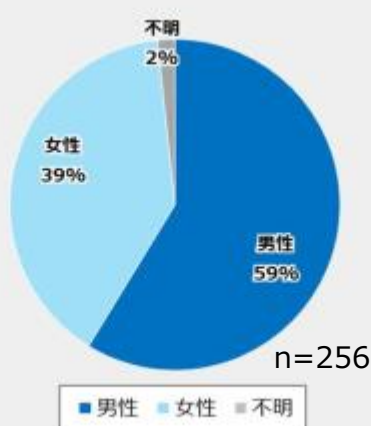


## ○ 参加者のプロフィール ※参加応募時のアンケートより集計

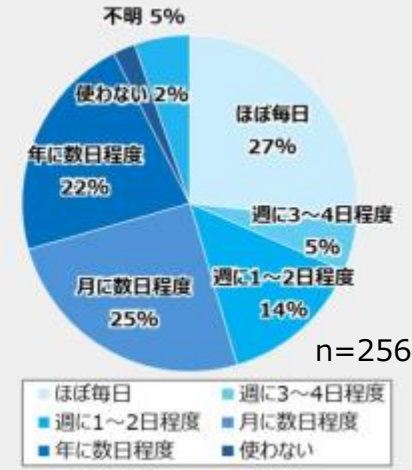
(1) 年齢比率



(2) 性別比率



(3) 公共交通の利用頻度



(4) フォーラム参加回数



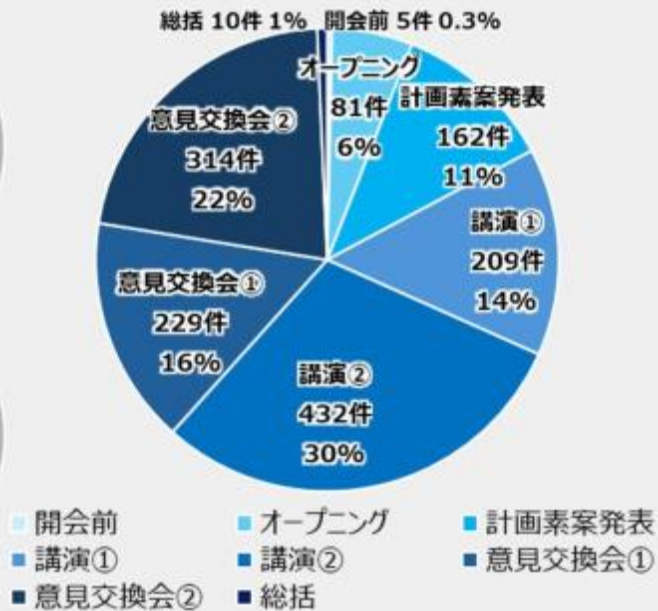
# 地域交通フォーラムの概要

## ○ スケジュール

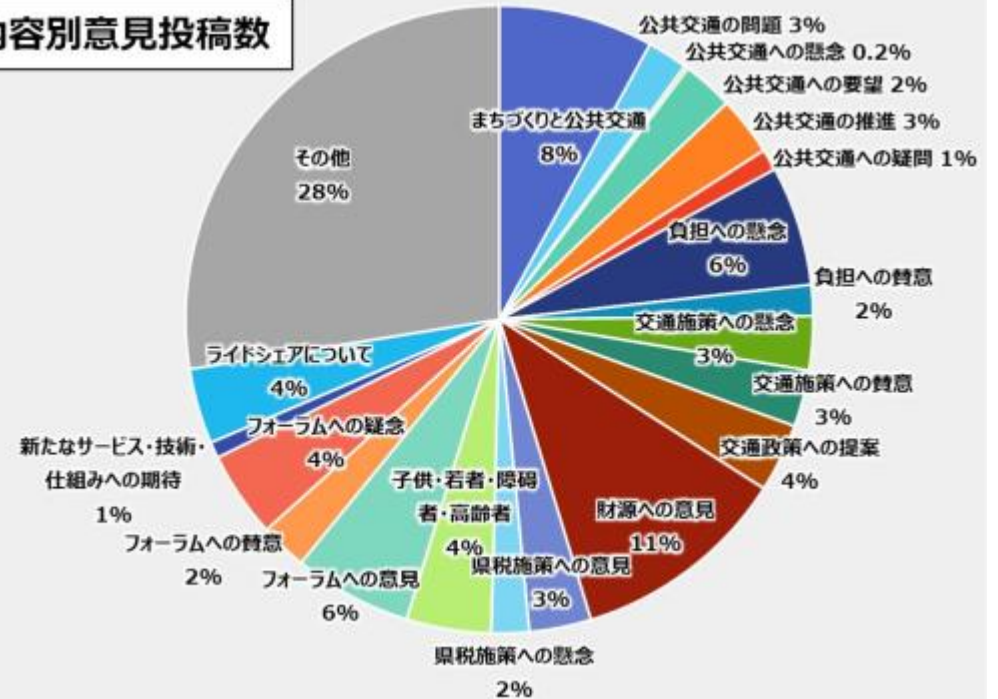
項目	概要
オープニング	<ul style="list-style-type: none"><li>・プログラム説明</li><li>・Slido使用方法説明</li><li>・企画趣旨説明</li></ul>
目指す暮らしと地域交通計画について	<ul style="list-style-type: none"><li>・過年度成果発表</li><li>・計画素案共有</li></ul>
講演①	筑波大学谷口教授による講演「クルマの功と罪」
講演②	京都府立大学川勝教授による講演「欧米にみる持続可能な公共サービスとしての公共交通とまちづくり」
意見交換会	Slidoを使用した参加者全体での意見交換の実施 【テーマ1】 地域交通が「あること」、「充実すること」でどのような暮らしができるか 【テーマ2】 求める暮らしの実現に向けた施策の実施に必要な「財源のあり方」について
総括	<ul style="list-style-type: none"><li>・グラフィックレコーディングの成果物発表</li><li>・本イベント全体を通して見た、意見の大まかな傾向等のとりまとめの発表</li></ul>
エンディング	<ul style="list-style-type: none"><li>・本イベントに対する講評</li></ul>

# フォーラム参加者の意見

## コンテンツ別意見投稿数



## 内容別意見投稿数



意見投稿総数	1442件
開会前	5件
オープニング	81件
計画素案発表	162件
講演①	209件
講演②	432件
意見交換会①	229件
意見交換会②	314件
総括	10件

まちづくりと公共交通	115件	財源への意見	162件
公共交通への要望	30件	県税施策への意見	46件
公共交通への懸念	3件	県税施策への懸念	28件
公共交通の問題	38件	子供・若者・障害者・高齢者	63件
公共交通の推進	44件	フォーラムへの意見	88件
公共交通への疑問	16件	フォーラムへの賛意	35件
負担への懸念	89件	フォーラムへの懸念	64件
負担への賛意	23件	新たなサービス・技術・仕組みへの期待	12件
交通施策への懸念	40件	ライドシェアについて	56件
交通施策への賛意	42件	その他	397件
交通政策への提案	51件		

# 財源の確保に関するアンケート

## ○財源の確保に関するアンケート

地域交通の維持・充実のために今後必要となる財源をどのように賄うべきと考えるか、フォーラムのプログラム（地域交通計画について、講演①,②、意見交換会）の前後に、以下の項目でアンケートを実施した

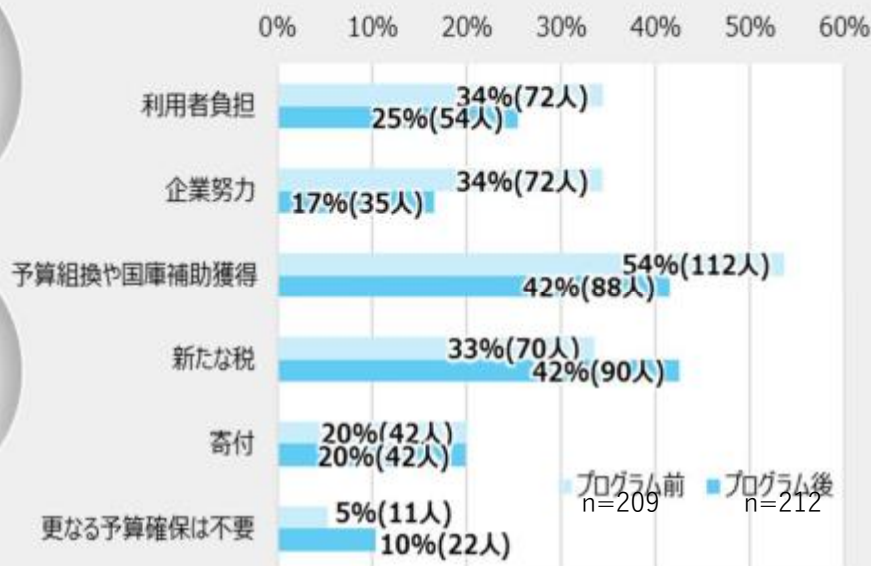
- ① 利用者による負担（運賃値上げ）
- ② 交通事業者の努力（コストダウン、広告収入など）
- ③ 既存予算の組み換えや新たな国庫補助の獲得
- ④ 新たな税（利用者以外も含めたみんなで負担）
- ⑤ 寄付（ふるさと納税やクラウドファンディングなど）
- ⑥ さらに費用をかける必要はない

※ 複数選択可

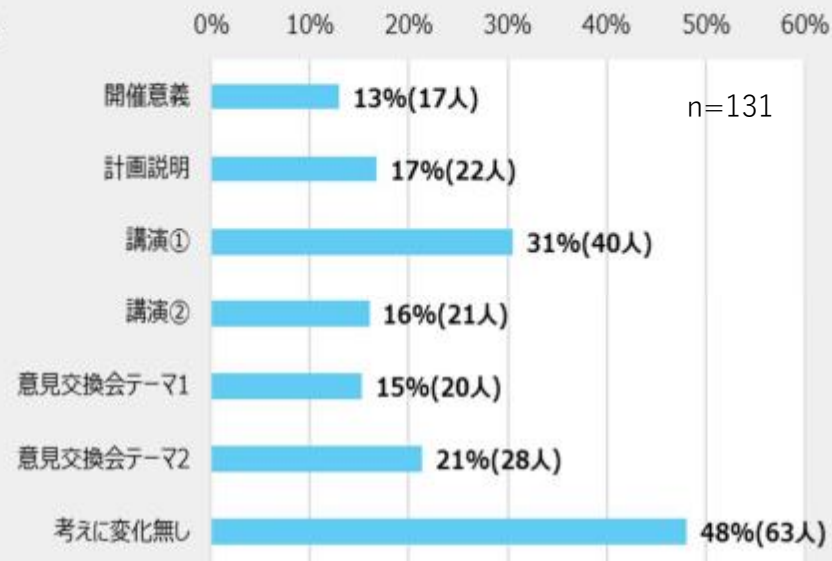
さらに、フォーラム参加者に対して、財源の確保に関するアンケートの回答に変化があったか、変化があった場合は、どのプログラムに影響を受けたか事後アンケートを実施した。

# 財源の確保に関するアンケートの結果

## 財源確保の手段に対する考え



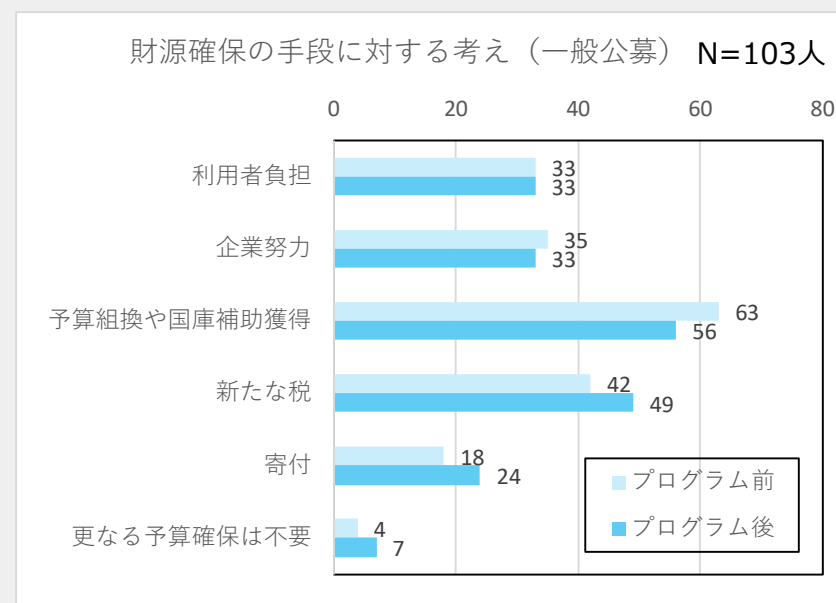
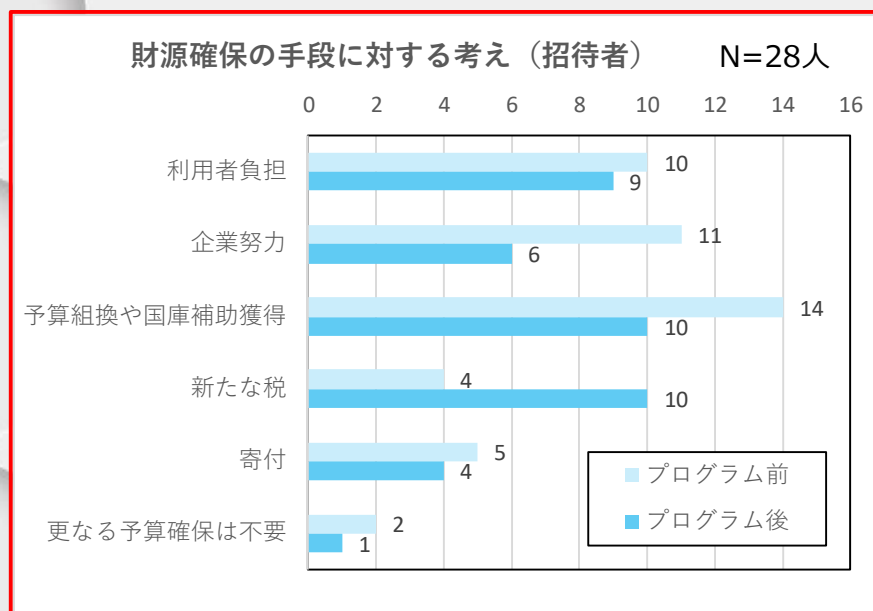
## 考えの変化に寄与したプログラム



フォーラムのプログラム前後で、  
新たな税、更なる予算確保は不要の得票数が**増加**  
利用者負担、企業努力、予算組換や国庫補助獲得の得票数が**減少**  
フォーラムへの参加者の約半数が、財源確保の手段に対して考えが変化

# 財源の確保に関するアンケートの結果

## 招待者と一般公募参加者の比較（財源確保の手段に対する考え）



- ・フォーラムのプログラム前は、招待者の方が「予算組換や国庫補助獲得」、「利用者負担」、「企業努力」を選択する人の割合が高かった、プログラム後は、上記の3つを選択する人の割合が減り、「新たな税」を選択する人の割合が高くなった。
- ・一般公募参加者に比べ、考えの変化が顕著であった。

# 財源の確保に関するアンケートの結果

## 招待者の感想・意見（自由記述）

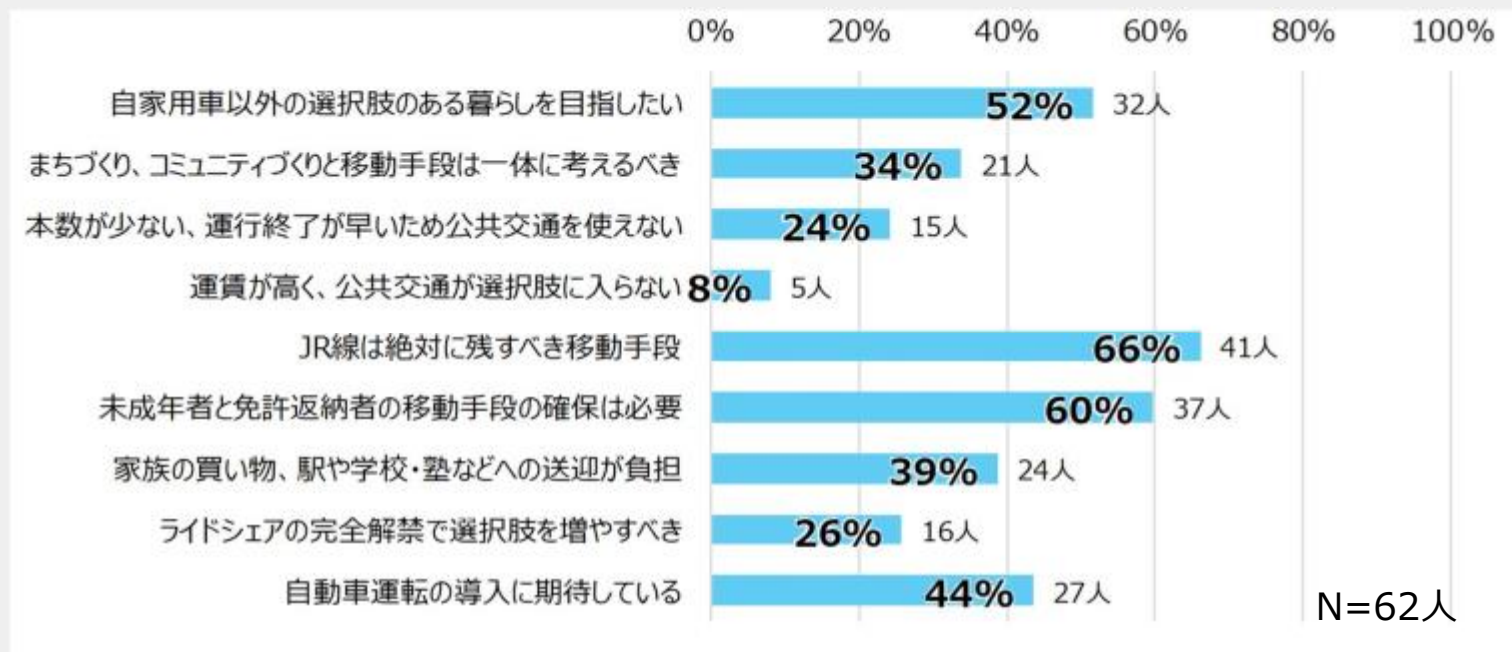
- ・交通に対してよくわかり大変よい機会でした。
- ・交通事業者の企業努力をもっと県民が知るべきと思う。
- ・子供の友達が休日に遊びに来るのにバスがないということをきっかけに問題意識を持ち参加させていただきました。行きたいときに行きたい場所へ行ける、来てもらえる滋賀県になって欲しいです。
- ・いったん自動車を若者が購入したら、自動車中心のライフスタイルになる。フォーラムの講演を、滋賀県の全ての高校生、大学生に聞かせるべき

- ・無作為抽出者への参加招待の送付は、フォーラム参加のきっかけや、地域交通について考えるよい機会につながった。
- ・地域交通に関する県民への情報提供が大事だといった意見があった。

# 財源の確保に関するアンケートの結果

## 特設会場アンケート結果

(地域交通に関する自身の考えに近い意見・共感できる意見)



・アンケートの結果、各得票数の多い順から下記の通りであった。  
若い世代を対象としたイベントで実施した際の結果と同様の結果であった。

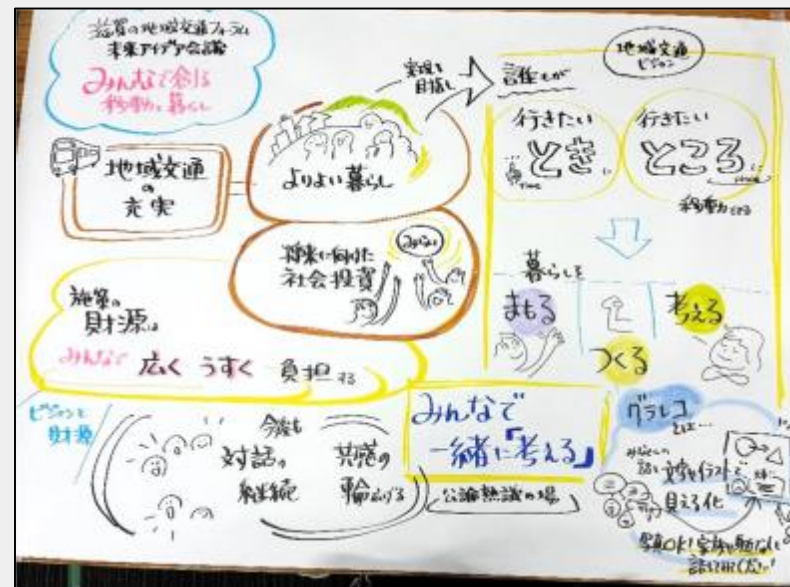
**1位 JR線は絶対に残すべき移動手段**

**2位 未成年と免許返納者の移動手段の確保は必要**

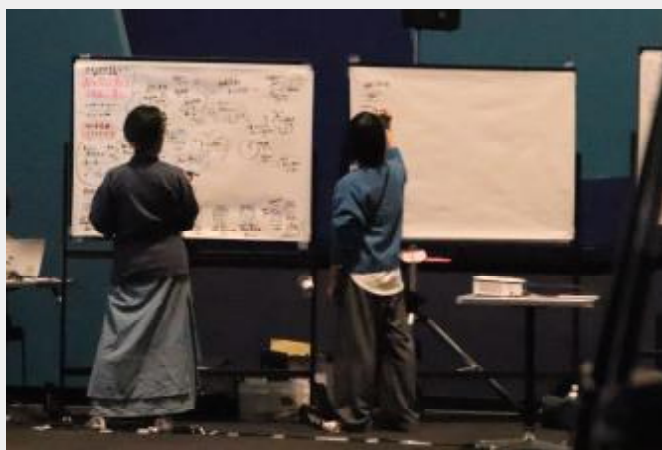
**3位 自家用車以外の選択肢のある暮らしを目指したい**

# 地域交通フォーラムの成果

## ▼制作したグラフィックレコーディング



## ▼グラフィックレコーディングの様子



# 地域交通フォーラムの実施状況

## ▼現地写真（スクリーン1）



# 地域交通フォーラムの実施状況

## ▼現地写真（特設会場）

